Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/08/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.72	0.06
JPY/THB	0.2448	0.0017
USD/JPY	141.76	-0.82
EUR/THB	38.19	0.26
EUR/USD	1.1006	0.0057
USD/CNH	7.188	0.006
SGD/THB	25.88	0.06
AUD/THB	22.80	0.10
USD/INR	82.84	0.11
USD Index	102.02	-0.53

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,939.6	7.6
WTI (Oil)	82.82	1.27
Copper	8,573.0	-38.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,530.46	1.45
NIKKEI (JP)	32,192.75	33.47
DOW (US)	35,065.62	-150.27
S&P500 (US)	4,478.03	-23.86
SHCOMP (CN	3,288.08	7.62
DAX(GER)	15,951.86	58.48

Bond

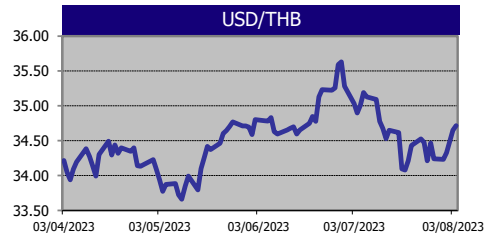
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.435	0.000
10Y (THB)	2.635	0.000
5Y (USD)	4.134	-0.158
10Y (USD)	4.034	-0.141

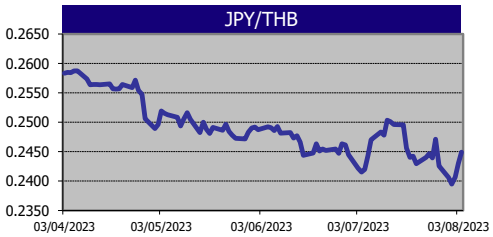
Fund Flow (Overseas Investors)

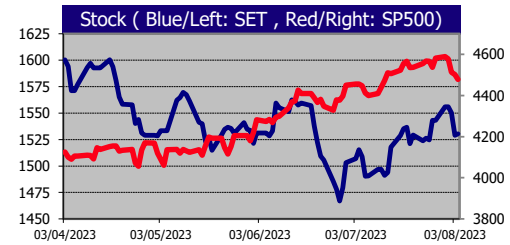
	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,576)	354.7
Bond net flow	(7,016)	1015.1

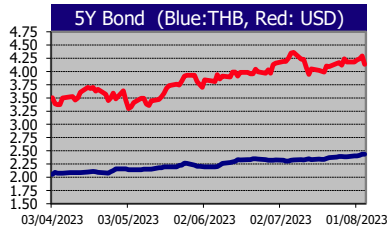
*compared with previous day

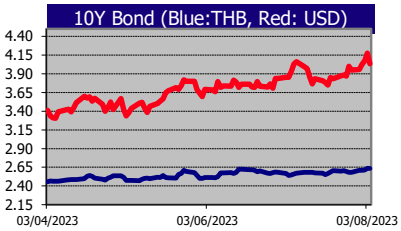
(Source: Bloomberg)

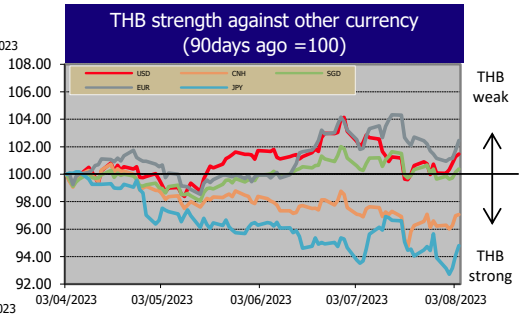


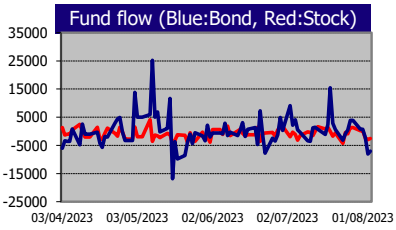


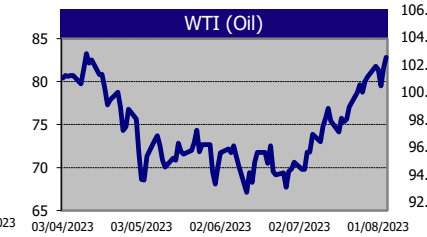












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

・4日(金)のドルバーツは小幅に上昇。34バーツ台半ば付近で取引を開始したドルバーツはアジア時間、ドル人民元相場に連れる展開。朝方、中国人民銀行が金融支援策強化を表明すると、人民元が上昇。ドル人民元の下落に連れる格好でドルバーツも下落したものの、発表の内容は真新しいものではなかったこともあり、下落は長続きせず、次第に上昇に転じた。ドルバーツは34バーツ台後半まで上昇して海外時間に入ると、米7月雇用統計が発表され、雇用者数は予想を下回るも、平均時給は予想を上回る等、強弱入り混じる結果であることが確認された。発表直後こそ上下するも、次第にドル売り優勢の展開となり、ドルバーツは一時34バーツ台半ばまで下落。ただ、売りが一服すると、終盤にかけては反発。結局34.72レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・4日(金)のドル円は下落。142円台半ば付近で取引を開始したドル円は、実需の買いに支えられ、142円台後半まで上昇する場面を見せるも、買いは長続きせず、一時142円台前半まで反落。その後は海外時間に米7月雇用統計の発表を控える中、同水準から142円半ば付近での方向感に欠ける推移が継続した。海外時間に入り、注目の米7月雇用統計は強弱まちまちの展開なるも、米金利低下、ドル売りで反応。ドル円は一時141円台半ば付近まで下落した。終盤にかけてはドル売りも一服。141円台後半まで値を戻し、141.76レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週金曜日に発表された米7月雇用統計では、平均時給が前年同月比で+4.4%(市場予想:同+4.2%)、失業率が3.5%(市場予想3.6%)と良好な結果であったものの、雇用者数は前月比+187千人(市場予想:+200千人)と市場予想を下回る結果となった。事前に発表されていた米7月ADP雇用統計が+324千人(市場予想+190千人)と強い内容であったこともあってか、雇用統計発表後はドル売り優勢の展開となった。

かかる中、月初の重要指標をこなしたところではあるものの、今週も重要指標の発表が続く。まずは本日発表予定のタイ7月CPIである。6月分が前年同月比で0.23%と非常に低い数値を見せているが、先日のタイ中銀による金融政策会合では声明文において引き続き今後の物価上昇を想定していることが確認できた。また、従来の当局者の発言を見てもタイ中銀が実質金利を重視しているスタンスであることは明白であり、同指標の注目度が高いことは言うまでもない。加えて10日には米国の7月CPIの発表も予定されている。月初の重要指標をこなした直後ではあるものの、油断できない状況が続きそうだ。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.